

管理栄養士養成課程における入学前教育の必要性

花田 玲子*・出口佳奈絵*・山田和歌子*
田中 夏海*・前田 朝美*

Necessity of Preparatory Education in Registered Dietitian Training Course

Reiko HANADA*・Kanae IDEGUCHI*・Wakako YAMADA*
Natsumi TANAKA*・Asami MAEDA*

Key words : 入学前教育 preparatory education
管理栄養士 registered dietitian
モチベーション motivation

1. はじめに

東北女子大学（以下、本学）は家政系女子大学であり、現在、健康栄養学科（家政学科）と児童学科の2学科で構成されている。健康栄養学科は管理栄養士、栄養教諭、家庭科教員等の人材養成を、児童学科では、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士等の人材養成を行っている。

本学は、平成22年度から推薦入試に合格した入学予定者に対して、入学前教育を実施してきた。入学前教育は入学後の大学生活をスムーズに適應させるために行い、学習資料やレポート課題、さらにはWebの活用やワークショップ形式を取り入れる等その方法や取り組みは大学によって様々である^{1), 2)}。主に基礎学力を補うことや大学での専門教育への意気込みを維持させる目的が多く、大学での共同生活に重要なコミュニケーション力を高めることも含まれている。本学がこれまでに実施してきた入学前教育は、大学での学びに必要な基礎学力を補うことを目的とした課題が主であった。

推薦入試で早期に進路が決定した生徒は一般入試を受験する生徒に比べ、入学までの長い期間に気の緩みから高校の授業への集中力が落ち、生活態度への影響があると考えられる。推薦入試の合

格決定から入学までの数か月の期間に、有意義な体験学習をする機会があれば、大学での学修に生かせるスキルを身につけることが可能である。

健康栄養学科は、平成27年4月、家庭科教員や栄養士養成に軸をおいた家政学科から名称を改め、管理栄養士養成課程として認可された。国家資格の管理栄養士資格取得を目標とした学科で、入学予定者の入学目的が明確である。このことは前身の家政学科において、取得可能な免許がいずれも選択制であったことは異なる点である。

したがって、健康栄養学科では、入学予定者の共通目的である管理栄養士の専門性を意識した課題を与え、その効果や今後の課題を検討した。

2. 入学前教育の概要

1) 対象

推薦入試に合格した健康栄養学科への入学予定者15名を対象とした。

2) 入学前教育の内容

課題を与えるに際し、平成27年2月21日（土）に対象者を集め、説明会を実施した。説明会後入学までの期間は課題についてメールや電話での問い合わせを可能とし、対象者の課題に対する心的ストレスの軽減に努めた。入学前教育として与えた課題は以下の①～④に示す通りである。

①生活活動リズムの測定

生活習慣記録機 ライフコーダ GS (SUZUKEN) を用いて、運動強度や歩数などから1日の総エネルギー消費量を測定した(写真1)。測定期間は平成27年2月22日(日)~4月25日(土)の8週間とした。



写真1 生活習慣記録機(ライフコーダ)

②食事調査

調査期間は説明会翌日から入学までの期間のうち連続した8日間とし、本人および家族の食事を記録した。調査用紙は図1-1、1-2の様式を用いた。

③データ集計

①と②について、対象者が自己データを集計した。入学後、数回に分けてデータ集計のガイダンスを行い、データ入力やグラフ作成をし、各自結果をまとめた。

④結果の発表

③で集計したデータをもとに、自分の生活を振り返り、発表する機会を設けた。結果の発表は健康栄養学科1年次の合宿研修会(平成27年6月)で行った。対象者が自分のデータについて発表し、入学前教育を受けていない1年次生はその発表から、どのような入学前教育が行われたのかを

◆自身の食事を記録しましょう！

		月 日()		月 日()			
		朝	昼	夜	朝	昼	夜
食事摂取時間							
内容 (メニュー・料理)							
穀類(ごはん、パン、麺類)							
和風のごはんもの ルーを使った料理							
肉・肉加工食品類							
魚介類							
卵							
大豆製品(みそを除く)							
牛乳							
乳製品							
海藻							
小魚							
緑黄色野菜							
淡色野菜・きのこ							
果物							
飲み物							
砂糖(ジャムやほちみつ)							
油類(バターやマーガリン)							
植物油(菜花油やアヲ)							
マヨネーズやドレッシング							
植物油以外の油を使う料理							
ナッツ類							
ゴマ							
塩辛い経理(漬物以外)							
漬物							
汁物							
時間・食品名を記入	朝食						
飲み物							
飲み物 (水・お茶を除く) 量(100g・200g)の欄は必ず記入							
栄養補助食品							

図1-1 食事調査用紙(本人)

◆家族の食生活についても調べてみましょう。

		月 日()		月 日()			
		朝	昼	夜	朝	昼	夜
保護者1	朝食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	朝食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
性別(男性・女性)							
年齢							
才							
続柄	昼食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	昼食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
	夕食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	夕食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
	間食・夜食			間食・夜食			
保護者2	朝食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	朝食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
性別(男性・女性)							
年齢							
才							
続柄	昼食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	昼食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
	夕食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	夕食(:)	同じ食卓 <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>	同じメニュー <input type="checkbox"/>
	間食・夜食			間食・夜食			

図1-2 食事調査用紙(保護者)

知る機会とした。

3. 学生へのアンケート調査と結果

入学前教育の効果と今後の課題を検討するため、アンケート調査(図2)を実施した。調査対象、調査時期は以下のとおりである。なお、調査時期は入学してから半期以上大学生活を過ごした時期とした。

調査時期：平成27年11月2日

調査対象：健康栄養学科1年次41名

回収率：回収率100% (41名中1名欠席のため、配布数40、回収数40)

有効回答数：38 (回答に欠損のある2名を除外)

入学前教育の受講の有無では、推薦入試の合格者15名全員が入学前教育を受けたと回答したが、うち1名は一部未回答があるため集計から除外した。

入学前教育を受けた学生のみに対する質問で

図2 アンケート調査用紙

表1 入学前教育で意欲的に取り組めた課題(複数回答可)

n = 14

1. 生活活動リズム	2. 食事調査	3. データ集計	4. 結果の発表	5. なし
8名(57.1%)	7名(50.0%)	5名(35.7%)	3名(21.4%)	1名(7.1%)

表2 各課題の難易度

n = 14

	1. 簡単	2. やや簡単	3. 適度	4. やや困難	5. 困難
1. 生活活動リズム	3名(21.4%)	1名(7.1%)	6名(42.9%)	2名(14.3%)	2名(14.3%)
2. 食事調査	0名(0%)	1名(7.1%)	4名(28.6%)	6名(42.9%)	3名(21.4%)
3. データ集計	0名(0%)	1名(7.1%)	3名(21.4%)	9名(64.3%)	1名(7.1%)
4. 結果の発表	0名(0%)	0名(0%)	9名(64.3%)	4名(28.6%)	1名(7.1%)

は、表1に示した意欲的に取り組めた課題（複数回答可）は、生活活動リズムの測定8名（57.1%）、食事調査7名（50.0%）、データ集計5名（35.7%）、結果の発表3名（21.4%）であった。入学前に行った2つの課題については約半数が意欲的に取り組めたと回答したが、入学後に行った残り2つの課題に意欲的に取り組めたと回答したのは2～3割程度であった。

表2に示した課題の難易度は、生活活動リズムの測定から「適度」6名（42.9%）、「簡単・やや簡単」が4名（28.6%）、「困難・やや困難」が4名（28.6%）となった。食事調査は4名（28.6%）が「適度」と回答したが、「困難・やや困難」は9名（64.3%）と3分の2以上が困難であると回答した。データ集計は「簡単」0名で、「適度」3名（21.4%）、「困難・やや困難」は10名（71.4%）と課題をこなすのに多少の苦労がうかがえた。結果の発表では、「困難・やや困難」が5名（35.7%）であったものの、過半数の9名（64.3%）が「適度」と判定した。

入学前教育を受けて、大学での学修に関心をもったかは、14名中11名が「もった・ややもった」と回答し、78.6%が入学前教育を受けたことにより、大学での学修に関心を示したことがわかった。

入学前教育に対して受けてみたかった課題の自由記述において、入学前教育を受けた学生では、「自分の体に関するものだったので、普通の勉強と違って、関心と興味を持ってとりくめた」との感想や、栄養価計算や運動習慣調査など管理栄養士の専門性につながるような課題を受けてみたかったという回答があった。あわせて、基礎的な事項を復習するような課題を希望する回答も複数見られた。逆に入学前教育を受けていない学生では、自分も入学前教育を受けてみたかったという回答があり、また、受けてみたかった課題には、筋力測定や時間栄養学などがあげられ、入学前教育に対して意欲的にとらえている傾向が認められた。また、入学前教育の受講の有無に関わらず、基礎学力を補う課題を希望する回答は多数見られ

た。

健康栄養学科に入学して今どう感じているかは、「入学してよかった」「勉強をしっかり頑張らなければならない」等の意欲的な回答があった。しかし、「勉強が難しい」「管理栄養士になれるか不安」といった現状や将来への不安を示す回答も見受けられた。

管理栄養士課程カリキュラムの専門基礎分野・専門分野において、現状でどの分野に興味関心を持っているかを調べるため、管理栄養士国家試験ガイドラインの中から、関心のある大項目を10個自由選択させた。入学前教育の受講の有無に関係なく、いずれも専門基礎分野を約40%、専門分野を約60%選択しており、概ね専門基礎分野と専門分野の大項目数の比率と類似していた。しかし、学生の選択の仕方を見ると、現状では未開講である管理栄養士の専門分野を多く選択した学生も複数おり、これからの学修に関心を示す結果になった。

4. 今後の課題

健康栄養学科の入学前教育の目的は、専門教育への導入であり、地域に根差した「食と健康」を担う管理栄養士を目指し、まず「自分の生活を振り返ること」を重視した。大学での学修への動機づけに重点を置いたことにより、入学前教育を受けた学生の約8割が入学前教育を受けて、大学での学修に関心を深めたと考えられる。山岡²⁾による入学前教育に対する高校現場の意識調査によると、入学前教育で重点を置くべき内容として、「高校の学習の復習と基礎学力強化」34%に対し、「大学の学修の準備」が54%と上回った。この理由としては「モチベーション」と「学びの姿勢の涵養」の2面があげられた。今回の入学前教育は「管理栄養士を目指すモチベーションの維持」という観点から有意義であった。

一方、今回のアンケート調査結果をみると、入学前教育の受講の有無に関わらず、入学してから半年経過し、将来の進路に不安を抱いている学生は少なくない。社会貢献を目指す管理栄養士の職

業像や4年後の国家試験合格への意欲と不安、現状の学力で所定のカリキュラムを修得できるかという不安など様々である。

大学での積極的な学修を体験する機会を与えるような入学前教育により、入学予定者のモチベーションを維持することができる。これは入学後の学修かつ大学生生活の充実を図るうえでも重要である。一方で、入学前教育の受講の有無に関わらず、入学後に不安を抱える現状が浮き彫りとなった。

今後は、職業像を具体的にイメージできるような入学前教育として、管理栄養士に求められる栄養学や食事評価等を体験できる内容を取り入れる方針である。健康栄養学科の特色を活かした入学前教育の確立に向けて、課題内容とその評価法について取り組む必要がある。

文献

1. 下田健治、新見明子他：医療・福祉系短期大学における入学前教育の現状と課題 リメディアル教育研究 4(1), 12-18, 2009-03-31
2. 山岡憲史：接続教育支援センターにおける入学前教育の到達点（特集 立命館大学教育開発推進機構の研究と実践）立命館高等教育研究 = Ritsumeikan higher educational studies(15), 55-71, 2015-03
3. 岩田昌子、渋谷郁子：保育者養成課程に在籍する短期大学生の入学前教育の受けとめ方—大学適応との関係から— 鈴鹿短期大学紀要 33, 201-212, 2013-03-01